

2009年8月16日

- [ルート] 長川林道登山口⇄浜名岳  
 [参加者名] CL T.SAITOU 他1名  
 [コースタイム] 青森 自宅 7:10 出発 → 登山口 8:55 着 → 登山開始 9:18 → 伐採道路 → 入口 9:32 → 浜名分岐 10:08 → 浜名岳山頂 10:47 ~11:51 → 浜名分岐 12:21(12:33まで、浜名方面に下る) → 入口着 12:53 → 登山口 着 13:05 出発 → 道の駅 今別 → 青森 自宅 15:25 着

## [山行記録]

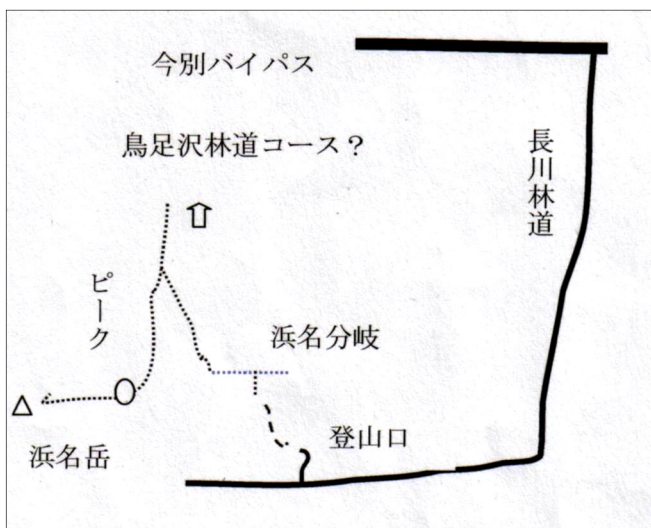
昨年までは、伐採道路によって寸断された浜名コース(鳥足沢林道)を山に入っていたが、確認することができなかったので、長川コースをたどって探してみようと来てみた。登山口駐車場に到着してみると、以前笹に覆われていた登山道路が、伐採道路に変わってしまっていた。寸断されているので、探し探し進むことに。すぐに左手笹やぶの中に、踏み跡の痕跡を見つけるが先に進む。伐採道路が左右に入り乱れているので、コンパスで方向を確認して行くと、間もなく入口の標識を発見。すぐに、ガイド本による262mピークを通っている、浜名からのコースの分岐に出る。しかし、踏み跡に笹が覆いかぶさっている廃道の状態である。

ぬかるみの緩い登りを過ぎると、急登に変わる。トラバースぎみに水平に進むと、大きな道の分岐に出る。浜名岳山頂方面は、左90度の急登である。無風状態であるが、気温が低いので助かっている。しかし、おなか周りの脂肪が足を引っ張っているため、二人とも汗だけであえいで登っている。一つ目のピーク付近で分岐があるが、これは違うのである。このあたりは、よいタケノコが採れそうな場所だ！ここまで来ると、目の前に浜名岳の山頂が見えてくる。いったん下ってから、急登になっているので気分的にうんざりだ。

やっと、薄いガスが漂う鳥居のある山頂に到着。以前より展望が良くない。また、山頂から中宇田方面、南股林道へ降りるルートは完全に笹で埋め尽くされていた。東奥日報社版青森県の山に、南股林道から登れば津軽半島特有の植物が見られるとの記入があるが、廃道化していて残念である。

定番の「山頂にてラーメンを作る」・・・チャーシュー・メンマ・ゆで卵入りのヤクルト・ラーメン。調理中に雲が晴れて、下界の港などが良く見えてきた。

祠を拝んで下山にとりかかる。先ほどの大きな分岐から、浜名(鳥足沢林道コース)方面を調査のために下る。大きな倒木を二本越え、一瞬の笹藪を突っ切り5分ほどで伐採道路の先端に出た。ピンクの目印テープを付けて戻る。今度、鳥足沢林道から、この伐採道路を探すのに必要であるので。



ここ十年、里山でも人が登る山と誰も登らない山と完全に二極化してしまっている。古くなった山のガイドブックは利用出来なくなっているので、気をつけましょう！

長川林道は雨のために、掘られたところがあるので、乗用車では登山口まで入れない。車高の高い車で。

前回の登頂は、1996年(平成8年)8月25日。その後、鳥足沢コースのルート見失い敗退。今回は、長川コースで同行者あり。単独より気分が楽であった。

報告 T.SAITOU

2009年9月27日

[ルート] 湯ノ沢林道登山口⇄袴腰岳  
 [参加者名] CL H.NAKAMURA 他 12名  
 [コースタイム] フェリー埠頭駐車場7:00→(村の駅)よもつと7:20~7:30→  
 湯ノ沢林道橋手前駐車場8:05~8:15→オドシ山(244m)8:30~8:35  
 → 赤松峠(268m)8:50~8:55→尾上9:20→竹の子平9:50~10:00  
 → 猿ヶ森分岐11:00~11:05→袴腰岳(707m)11:35~12:20→  
 猿ヶ森分岐12:45→竹の子平13:40~13:50→赤松峠14:50→  
 源四郎沢林道15:10→駐車場15:15→フェリー駐車場4:30

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

国道280号線に入り蟹田町を經由し、平館村役場手前の信号を、左折間もなく道幅も狭くなる。湯ノ沢林道橋の、手前の駐車スペースは4~5台在り。クマ注意の立て看板あるも水場もトイレもない。

[山行記録]

天気晴れ。会員11名、青森FHC(1名)。一般(1名)総勢13名で3台の車に分乗し、(村の駅)よもつとでトイレ休憩し、280号線を平館方面に進む。平館役場手前の信号を左折、舗装道路間もなく狭くなる。湯ノ沢林道の橋の手前の駐車スペースで、身支度LCL中村さんを先頭に(オドシ山ハイキングコース)より出発。登りが続き、杉林の尾根歩きは、軟らかく膝に優しい。オドシ山の標識で1回目の休憩、赤松峠で朽ちた標識を抱え写真に納まる。見事な赤松に目が止まる。つるりンドウの赤い実が鮮やか。ブナとヒバの混合林が続き尾上過ぎから道も狭く。前を歩くK.Hさんは漆を避けながらの奮闘でした。倒木も目立つ。前方でサモダシを見つけ夢中で、レジ袋にゲット。ゴミ袋まで用意したのは誰かな。その後も見つけたけど、まだ先があるので帰りのお土産にと進む。竹の子平。



笹はそんなに邪魔にならない。靴が運んだのか一輪のネジバナが咲いていた。林間から富士山に似た袴腰岳。貫禄十分の丸屋形岳見える。猿ヶ森分岐過ぎから登り。やせ尾根だけとそれなりに、刈り払がしてある。山頂は細長いスペースがある。青い空と陸奥湾。下北半島の釜伏山。縫道石山。津軽海峡を挟んで駒ヶ岳。波もなくフェリーの航跡がくっきりと、静かな海。山頂は素晴らしい眺望に大歓声でした。ゆっくり昼食と休憩をとり下山。竹の子平過ぎで、キノコ採りの人に会い鑑定してもら。毒キノコでは無さそうとの事。赤松峠で休憩し林道に出る。1房のヤマブドウ美味しく。マタビの、苦さにしかめっ面。J.Hさんの猫達は喜んでくれたかな。やぶ蚊の心配なく、お天気様様でした。登山教室参加のJ.Hさんは、3回目の山行で初めて天気に恵まれ、最初ついて行けるか心配だったけど楽しかった。S.Yさんは天気に恵まれ良かったとの、感想がありフェリー駐車場解散。

報告 S.TANAKA